

## 薬理パフォーマンス課題③

### 本時の学習目標

- ・事例から薬物の有害作用への対応を理解する

事例	<p><b>患者：</b>上杉 昭子さん、60代、女性</p> <p><b>病名：</b>Ⅱ型糖尿病</p> <p><b>既往歴：</b>高血圧、脂質異常症</p> <p><b>入院時所見：</b>血圧 160/90mmHg、随時血糖 350mg/dL、HbA1c10.6%、総コレステロール 250mg/dL、中性脂肪 424mg/dL、身長 150cm、体重 60kg、BMI26.6</p> <p><b>看護の展開：</b>もともと高血圧、脂質異常症で内服治療をしていた。定期健診時の血液検査で高血糖を指摘され、糖尿病の治療目的で入院した。食事療法、運動療法と共に薬物療法として、超速効型インスリン[インスリンリスプロ（ヒューマログ<sup>®</sup>）]皮下注射を、朝4 / 昼4 / 夕4単位、1日12単位にて開始した。</p> <p>入院3日目の朝からインスリン投与量が朝6 / 昼4 / 夕4に増量となった。その日の朝の血糖値は250mg/dLであった。指示票を参照し、インスリンリスプロ100単位/mLからインスリン専用の注射器に6単位(0.06mL)を吸い上げ、もう1名の看護師とダブルチェックし準備した。食前15分、上杉さんに本人確認を行ない、左上腕外側にインスリンリスプロ6単位を皮下注射した。その際、上杉さんに体調を確認したところ、「少し食欲がない」と話していた。インスリンを投与したため、食事を摂るように促し退出した。</p>
----	--

学習活動	学習活動における具体的な評価規準	評価資料	評価基準			学習の視点
			A	B	C	
事例をもとに、有害作用が起きないための対応を考える。	適切な薬物管理のための対応を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表内容（患者の観察項目、対処の理由、患者への説明）</li> <li>・質問への受け答え</li> <li>・提示資料</li> <li>・RF</li> <li>・PF</li> </ul>	各種インスリン投与による副作用・有害作用を理解し、有害作用が起きないような対処の必要性と、起きてしまった場合の早期の対処について具体的に示している。	患者の症状からインスリン投与による有害作用を理解し、血糖値の測定、他者への協力依頼、医師への報告などその必要性を具体的に示している。	インスリン投与時の患者の様子を観察する必要性とその具体的内容を示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶薬物療法 <ul style="list-style-type: none"> <li>インスリンの型と特徴</li> <li>効果に影響を及ぼす因子</li> <li>主作用、有害作用</li> <li>有害作用に対する適切な対応（低血糖症状）</li> </ul> </li> <li>▶食事療法</li> <li>▶運動療法</li> </ul> </li> <li>・アドヒアランス</li> </ul>

テーマ	適切な薬物管理のための対応		
学年・人数			
場面設定	糖尿病の治療目的で入院した患者さんの、インスリン増量後の観察を行う場面。		
時間配分	全体の時間 45分	シミュレーション時間	5分
		導入(ブリーフィング)時間	15分
		デブリーフィング時間	25分
学習目標	1. 薬物の有害作用への対応を理解する。		
患者情報	<p>氏名： 上杉 昭子  年齢： 61歳  性別： 女性  キーパーソン： 夫  家族構成： 夫との2人暮らし  診断： 1型糖尿病  背景：  <b>既往歴</b>： 高血圧、脂質異常症  <b>入院時所見</b>： 血圧 160/90mmHg、随時血糖 350mg/dL、HbA1c10.6%、総コレステロール 250mg/dL、中性脂肪 424mg/dL、身長 150cm、体重 60kg、BMI26.6  <b>看護の展開</b>： もともと高血圧、脂質異常症で内服治療をしていた。定期健診時の血液検査で高血糖を指摘され、糖尿病の治療目的で入院した。食事療法、運動療法と共に薬物療法として、超速効型インスリン[インスリンリスプロ (ヒューマログ®)]皮下注射を、朝4/昼4/夕4単位、1日12単位にて開始した。</p> <p>入院3日目の朝からインスリン投与量が朝6/昼4/夕4に増量となった。その日の朝の血糖値は250mg/dLであった。指示票を参照し、インスリンリスプロ100単位/mLからインスリン専用の注射器に6単位(0.06mL)を吸い上げ、もう1名の看護師とダブルチェックし準備した。食前15分、Aさんに本人確認を行ない、左上腕外側にインスリンリスプロ6単位を皮下注射した。その際、Aさんに体調を確認したところ、「少し食欲がない」と話していた。インスリンを投与したため、食事を摂るように促し退出した。</p>		
シミュレーションの課題	インスリン注射の30分後に上杉さんからナースコールが鳴りました。上杉さんの病室の訪室し、訴えに対して適切な対応を実施しましょう。		
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶薬物療法 <ul style="list-style-type: none"> <li>インスリンの型と特徴</li> <li>効果に影響を及ぼす因子</li> <li>主作用、有害作用</li> <li>有害作用に対する適切な対応（低血糖症状）</li> </ul> </li> <li>▶食事療法</li> <li>▶運動療法</li> </ul> </li> <li>・アドヒアランス</li> </ul>		